

事業計画書

事業名	「定年後の起業」を支援する事業 (「起業の仕方」 & 「ちいさな経営の仕方」を学ぶ)				
場所	沼津市 地内(未定)				
実施予定期間	平成29年7月1日 ~ 平成30年1月31日				
日程	実施項目・作業項目				
	<p>「ACS アシストコミュニティ静岡」は、起業を目指している人たちに対して、経営に必要な知識と情報を提供し、実務、経営と心理の総合面からのサポートとコンサルに関する事業を行い、起業を通して地域を活性化することに寄与することを目的のひとつとして、今年6月に特定非営利活動法人として設立する予定です。</p> <p>この事業では、定年した方、数年後に定年を迎える方を対象に「起業の仕方」や「コンパクトな経営の仕方」をテーマに学び、自分の「強み」を活かして独立開業する方を支援していきます。</p>				
	月	活動	内容	準備等	人員配置
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ●「勉強会」実施内容検討と決定 ●告知広告方法の検討と決定 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集定員について第1～5回、全ての受講を前提に募集する ●開催準備検討会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催 ・チラシの作成 ・ホームページ、ブログ、SNSを利用した告知 ・沼津市報等への掲載依頼 	ACS役員全員(6名)
	8月	「定年後の起業学校」第1回(定員:5名)	1. 事業計画の立て方 ① 自分の「強み」を特定する ② 事業目的を設定する	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講師を決定し、打合せを行う 	1～2名
	9月	「定年後の起業学校」第2回(定員:5名)	1. 事業計画の立て方 ③ 事業計画作成 ④ 事業予算を立てる ⑤ 事業資金の調達方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・進行表を作成する 	1～2名
	10月	「定年後の起業学校」第3回(定員:5名)	2. 起業の実務 ① 届け出関係 ② 経営事務のいろはを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケートを作成する 	1～2名
	11月	「定年後の起業学校」第4回(定員:5名)	3. 集客のノウハウ ① ホームページの役割を知る ② ブログの効果を知る ③ SNS (Facebook、LINE@)の集客活用方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト及び資料を作成する ・会場の手配をする ・告知広告をする 	1～2名
	12月	「定年後の起業学校」第5回(定員:5名)	4. まとめ ●「起業計画書」を作成 実際に起業するかどうかは別にして、計画を全員が作成する。 ① 具体的な計画を作成する ② 課題を抽出し、検討する ③ その他質問コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター等当日の準備 ・ACS活動の告知資料を準備する 	1～2名

事業効果	<p>【事業効果】 この事業では、起業に関する知識を提供し、ビジネスに繋がる自分の強みを見つけ、具体的な計画を立てることで定年後の第二の人生を充実したものにしていく手助けをしていきます。 このことは、沼津市が目指す「元気な沼津まちづくり」や地域経済の活性化にも繋がります。</p> <p>【成果指標・数値目標】 ・募集定員 100%の参加を目指す ・「起業計画書」を受講者全員が作成する</p>
------	---

※評価の視点については、募集の手引きを確認し、ください。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。</p> <p>シニア世代が起業して、やりがいのある仕事と経済的にも安定した暮らしを手に入れ、地域の人々とも交流し、元気になることは沼津市のみならず、日本全体にとっても有益なことです。 また、安易な起業をして失敗した場合のリスクは、シニア世代にとっては大きなダメージになりかねません。それは、将来都市像「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市・沼津」全体にとっても同様です。 この事業は、そのようなリスクを回避し、シニア世代の起業の成功を支援し、「魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち」づくりに貢献する事業です。</p>
発展性	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。</p> <p>シニア世代が起業を通して自己実現し、年齢制限なく生き生きと活躍することは、ビジネス交流や地域の団体やコミュニティとの交流も活発になり、他の住民の手本となる可能性もあり、市民全体の活力をアップさせる効果が期待できます。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。</p> <p>人口・世帯数の減少、少子高齢化、経済のグローバル化などの社会情勢により、沼津市でも産業全体の就業者及び生産額が減少傾向で、それにより都市全体の活力が低下して来ています。 シニア世代の起業により、貯蓄や年金のみで暮らす人、生活保護に頼り暮らす人の割合が減少することは、生産人口の増加に繋がり、地域の経済活動が活発化する要因になります。 また、長く沼津市に住んだ方たちによる市の特産品や観光資源を活かすビジネスが新たに生まれる可能性もあります。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。</p> <p>起業することで、生活資金の確保、元気で生きがいのある暮らし、地域の人々との交流、仕事の夢を実現など、良い面がマスメディア等でも取り上げられて、成功例も紹介され、企業や団体を定年後の「シニア起業」に興味を持つ人が増えて来ています。 反面、消費生活センターへの「起業家育成講座等のトラブル報告」も増えていると発表されています。 期待と夢だけで起業するのではなく、具体的に「起業の仕方」や「コンパクトな経営の仕方」を学び、「起業計画」を立てて実行可能かどうかを検討することが重要になって来ます。 当法人は、6月設立予定で会員の募集も6月から開始する予定です。その関係で、初年度は事業予算も少なく、予算内の限られた事業計画しか立てられませんが、この助成を得ることで、当法人の設立目的に沿った活動の第一歩を踏み出すことが出来ます。</p>

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。</p> <p>起業について誰かの話を聞く（講演会タイプのセミナー）ではなく、「起業計画」を立てることを目的として開業の実務、経営の実務、集客のノウハウを学び、同時に「自分の強み」を見つけ、「事業目的」を明らかにする全5回の勉強会とした点は、沼津市及び東部地域でも新しい取り組みだと思えます。</p> <p>定員を5名（多少の増員は受け入れる）として、月1回の勉強会に継続して参加する意思がある、本気で学びたい方が集まるように、受講料は有料（1回 1,000円 全5回 5,000円程度）として、第1回から第5回まで通した申込みにする予定です。</p> <p>また、やむを得ず参加できなかった回が発生した場合は、オンラインの勉強会（無料）を用意して次回以降に差しさわりのないよう工夫して行きます。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。</p> <p>この事業は、毎年継続して行いたいと考えていますので、この事業に参加した方が次年度以降もブラッシュアップのために参加することが可能です。</p> <p>また、この法人が主催する起業家育成のための事業や、起業した人向けの講座開催、コンサル・サポート事業、地域との交流会等について積極的に告知広告し、起業前、起業後とも継続的に勉強していける環境を提供します。</p>